

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 コーセー
 コード番号 4922 URL <http://www.kose.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR課長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

(氏名) 小林 一俊
 (氏名) 中田 仁典
 配当支払開始予定日

TEL 03-3273-1511
 平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	85,269	△3.6	2,821	△38.7	2,589	△46.9	740	△53.2
21年3月期第2四半期	88,451	—	4,603	—	4,872	—	1,583	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	12.77	—
21年3月期第2四半期	27.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	168,493	104,993	58.7	1,703.50
21年3月期	166,920	104,468	59.1	1,699.92

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 98,884百万円 21年3月期 98,676百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
22年3月期	—	20.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	176,000	△1.2	10,000	△18.7	9,700	△19.3	3,500	△26.2	60.30

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	60,592,541株	21年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,545,040株	21年3月期	2,544,823株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	58,047,624株	21年3月期第2四半期	58,264,505株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

事業区分	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品	64,874	73.4	61,485	72.1	△3,389	△5.2
コスメタリー	22,588	25.5	23,109	27.1	521	2.3
その他	988	1.1	674	0.8	△314	△31.8
売上高計	88,451	100.0	85,269	100.0	△3,181	△3.6

区分	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	4,603	5.2	2,821	3.3	△1,782	△38.7
経常利益	4,872	5.5	2,589	3.0	△2,282	△46.9
四半期純利益	1,583	1.8	740	0.9	△842	△53.2

① 概況

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)における日本経済は、企業収益が減少し雇用・所得環境が厳しさを増す中、個人消費の低迷が続き、引き続き厳しい状況で推移しました。化粧品業界におきましては、本年8月までの平成21年度の経済産業省化粧品出荷統計(暦年)によりますと、販売個数は前年同期と比べ小幅の減少にとどまったものの、販売金額が大幅に減少しました。

このような市場環境の中、当社グループは、独自のブランドマーケティングを進化させ、多様化する市場や生活者ニーズに柔軟に対応するとともに、経営資源の最適配分を推進し経営効率の向上と収益力の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、コスメタリー事業は伸長したものの、化粧品事業とその他の事業が前年を下回ったため、売上高は85,269百万円(前年同期比3.6%減)となりました。なお、海外売上高の為替の影響を除くと前年同期比2.3%減となります。

利益につきましては、効率的な経費使用に努めたものの、売上高が減少した影響で、営業利益は2,821百万円(同38.7%減)、経常利益は2,589百万円(同46.9%減)、四半期純利益は740百万円(同53.2%減)となりました。

② セグメント別の状況

(a) 化粧品事業

事業区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	64,874	61,485	△3,389	△5.2
セグメント間の売上高	百万円	—	—	—	—
売上高計	百万円	64,874	61,485	—	—
営業利益	百万円	6,100	4,668	△1,431	△23.5
営業利益率	%	9.4	7.6	—	—

化粧品事業につきましては、国内では、百貨店向けメイクアップブランド「アディクション」の導入や、「ジルスチュアート」の発売5周年プロモーションなど、化粧品専門店や百貨店で扱う高級品の育成に努めました。また、新ブランド「グランデュー ルクサーージュ」の導入や「雪肌精」のプロモーションなど、積極的な販売施策を実施しました。しかしながら、国内個人消費の長引く低迷など市場環境の影響もあり、全体として厳しい結果となりました。

海外においては、中国での専門店チャネルの拡大に取り組んだほか、各国に新たなブランドを順次導入するなど事業の拡大を図り好調に推移しました。一方で、為替相場が前年同期と比べ円高水準で推移したことにより、円換算ベースでの売上高は目減りしました。

これらの結果、当事業の売上高は、61,485百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益は4,668百万円（同23.5%減）となりました。

(b) コスメタリー事業

事業区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	22,588	23,109	521	2.3
セグメント間の売上高	百万円	—	—	—	—
売上高計	百万円	22,588	23,109	—	—
営業利益	百万円	△259	△543	△283	—
営業利益率	%	—	—	—	—

コスメタリー事業につきましては、取引店改革の影響や前年のプロモーションの反動があったものの、新製品の投入やリニューアルに加え、積極的な広告宣伝・販売促進活動を実施し、ブランドの活性化と顧客の拡大に努めました。

これらの結果、売上高は23,109百万円（前年同期比2.3%増）となりましたが、広告宣伝費を先行投資した影響もあり、営業損失は543百万円となりました。

(c) その他の事業

事業区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	988	674	△314	△31.8
セグメント間の売上高	百万円	1,209	1,229	—	—
売上高計	百万円	2,197	1,904	—	—
営業利益	百万円	187	167	△20	△10.9
営業利益率	%	8.5	8.8	—	—

その他の事業につきましては、相手先ブランド製品に関する受注生産の受託高減少等の結果、売上高は674百万円（前年同期比31.8%減）、営業利益は167百万円（同10.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べ1,572百万円の増加となりました。現金及び預金の増加135百万円、受取手形及び売掛金の減少66百万円、有価証券の減少1,539百万円、商品及び製品の増加918百万円、仕掛品の増加244百万円、原材料及び貯蔵品の増加899百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,047百万円の増加となりました。支払手形及び買掛金の増加2,163百万円、未払法人税等の減少517百万円、未払費用の減少370百万円、退職給付引当金の減少641百万円等によるものであります。

なお、有利子負債残高は4,657百万円、デット・エクイティ・レシオは0.05倍となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、国内景気は一部に改善のきざしがみられるものの、雇用・所得環境は依然として厳しく、個人消費の低迷が続くものと懸念されます。化粧品業界におきましても、国内需要が伸び悩む中で、企業間競争の激しさも増しております。

このような事業環境の中、当社グループは、下期におきましても、既存の主力製品の育成に加え、新たな製品やブランドを投入することにより多様化する市場や生活者ニーズに柔軟に対応してまいります。海外事業につきましても、引き続きグローバルブランドの育成や販路の開拓に取り組んでまいります。また、本年10月に「ジルシュエアート」の商標権取得契約を締結いたしました。これにより、ブランド価値の一層の向上と事業拡大を推進してまいります。

企業力の強化に関しましては、同じく10月に、当社の物流業務のアウトソーシング化を決定いたしました。これにより、経営資源を化粧品の製造販売に集中して経営効率の向上を目指してまいります。なお、本件の決定に伴い、移転対象となる流通センターの固定資産に関して減損損失が発生する見込みです。

これらの状況を踏まえ、次の通り業績の見直しを変更いたします。

上期の実績を勘案するほか、製品の売上構成による原価率の上昇等も見込み、売上高は176,000百万円（前期比1.2%減）、営業利益は10,000百万円（同18.7%減）、経常利益は9,700百万円（同19.3%減）、当期純利益は3,500百万円（同26.2%減）を予想しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 180,000	百万円 12,500	百万円 12,600	百万円 5,900	円 銭 101.64
今回発表予想 (B)	176,000	10,000	9,700	3,500	60.30
増減額 (B-A)	△4,000	△2,500	△2,900	△2,400	——
増減率 (%)	△2.2	△20.0	△23.0	△40.7	——
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	178,121	12,303	12,017	4,742	81.55

平成22年3月期（通期）の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

事業区分	平成21年3月期		平成22年3月期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品	132,517	74.4	129,700	73.7	△2,817	△2.1
コスメタリー	43,821	24.6	44,900	25.5	1,078	2.5
その他	1,782	1.0	1,400	0.8	△382	△21.5
売上高計	178,121	100.0	176,000	100.0	△2,121	△1.2

区分	平成21年3月期		平成22年3月期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	12,303	6.9	10,000	5.7	△2,303	△18.7
経常利益	12,017	6.7	9,700	5.5	△2,317	△19.3
当期純利益	4,742	2.7	3,500	2.0	△1,242	△26.2

※主要な為替レートにつきましては、92円/米ドル、2.8円/台湾ドル、13.4円/中国元を想定しています。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、親会社及び一部の連結子会社において、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるものについては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,922	21,787
受取手形及び売掛金	23,977	24,044
有価証券	24,995	26,534
商品及び製品	12,468	11,549
仕掛品	1,507	1,262
原材料及び貯蔵品	9,933	9,034
繰延税金資産	5,076	4,637
その他	2,493	2,194
貸倒引当金	△280	△283
流動資産合計	102,093	100,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,953	31,367
減価償却累計額	△18,009	△17,461
建物及び構築物(純額)	13,944	13,905
機械装置及び運搬具	13,674	13,550
減価償却累計額	△11,590	△11,463
機械装置及び運搬具(純額)	2,084	2,087
工具、器具及び備品	27,428	26,344
減価償却累計額	△22,054	△21,057
工具、器具及び備品(純額)	5,374	5,286
土地	17,695	17,701
リース資産	193	114
減価償却累計額	△29	△13
リース資産(純額)	164	100
建設仮勘定	200	214
有形固定資産合計	39,463	39,296
無形固定資産		
ソフトウェア	2,155	1,924
その他	449	1,081
無形固定資産合計	2,604	3,005
投資その他の資産		
投資有価証券	8,616	7,958
繰延税金資産	12,294	12,610
その他	3,718	3,615
貸倒引当金	△299	△326
投資その他の資産合計	24,331	23,858
固定資産合計	66,399	66,159
資産合計	168,493	166,920

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,350	14,187
短期借入金	4,481	4,485
リース債務	45	28
未払金	5,917	6,062
未払費用	6,962	7,332
未払法人税等	1,460	1,978
未払消費税等	524	327
返品調整引当金	2,106	2,116
その他	904	681
流動負債合計	38,752	37,199
固定負債		
リース債務	129	79
退職給付引当金	20,637	21,279
役員退職慰労引当金	3,933	3,845
その他	46	48
固定負債合計	24,746	25,252
負債合計	63,499	62,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,390	6,390
利益剰余金	94,557	94,977
自己株式	△7,229	△7,228
株主資本合計	98,567	98,988
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	263	145
為替換算調整勘定	53	△456
評価・換算差額等合計	316	△311
少数株主持分	6,109	5,791
純資産合計	104,993	104,468
負債純資産合計	168,493	166,920

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	88,451	85,269
売上原価	22,800	22,207
売上総利益	65,651	63,062
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	4,465	5,133
販売促進費	19,409	18,062
運賃及び荷造費	2,713	2,715
給料及び手当	19,462	18,921
退職給付費用	403	814
福利厚生費	3,427	—
法定福利費	—	2,449
減価償却費	1,342	1,318
その他	9,823	10,823
販売費及び一般管理費合計	61,047	60,240
営業利益	4,603	2,821
営業外収益		
受取利息	171	139
受取配当金	87	41
雑収入	94	109
営業外収益合計	353	290
営業外費用		
支払利息	44	28
為替差損	26	486
雑損失	15	8
営業外費用合計	85	522
経常利益	4,872	2,589
特別利益		
固定資産売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	—	13
投資有価証券売却益	36	—
移転補償金	85	—
特別利益合計	122	14
特別損失		
固定資産処分損	80	87
投資有価証券評価損	12	—
投資有価証券売却損	—	0
貸倒引当金繰入額	—	17
その他	6	—
特別損失合計	99	104
税金等調整前四半期純利益	4,894	2,498
法人税、住民税及び事業税	2,540	1,600
法人税等調整額	236	△201
法人税等合計	2,777	1,398
少数株主利益	534	359
四半期純利益	1,583	740

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,894	2,498
減価償却費	2,535	2,693
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	54	△2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,129	△641
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	116	87
その他の引当金の増減額 (△は減少)	54	△10
固定資産処分損益 (△は益)	80	86
移転補償金	△85	—
受取利息及び受取配当金	△259	△181
支払利息	44	28
為替差損益 (△は益)	17	336
投資有価証券売却損益 (△は益)	△36	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	12	—
売上債権の増減額 (△は増加)	142	230
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,037	△1,934
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,334	1,336
その他の資産の増減額 (△は増加)	△289	△79
その他の負債の増減額 (△は減少)	992	419
小計	7,441	4,869
利息及び配当金の受取額	244	169
利息の支払額	△50	△39
移転補償金の受取額	85	—
法人税等の支払額	△4,036	△2,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,685	2,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,800
定期預金の払戻による収入	100	1,800
有価証券の取得による支出	△13,979	△17,189
有価証券の売却による収入	15,475	11,986
子会社株式の取得による支出	—	△114
有形固定資産の取得による支出	△3,005	△1,969
有形固定資産の売却による収入	1	12
無形固定資産の取得による支出	△643	△281
投資有価証券の取得による支出	△333	△576
投資有価証券の売却による収入	4,811	7
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△763	△135
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,663	△9,259
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△18	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2,439	△0
配当金の支払額	△1,180	△1,160
少数株主への配当金の支払額	△39	△32
その他	△1	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,680	△1,210
現金及び現金同等物に係る換算差額	△113	△55
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,554	△7,649
現金及び現金同等物の期首残高	34,093	39,066
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,648	31,416

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	化粧品事業 (百万円)	コスメタリー 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	64,874	22,588	988	88,451	—	88,451
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,209	1,209	(1,209)	—
計	64,874	22,588	2,197	89,660	(1,209)	88,451
営業利益又は営業損失(△)	6,100	△259	187	6,028	(1,424)	4,603

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	化粧品事業 (百万円)	コスメタリー 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	61,485	23,109	674	85,269	—	85,269
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,229	1,229	(1,229)	—
計	61,485	23,109	1,904	86,499	(1,229)	85,269
営業利益又は営業損失(△)	4,668	△543	167	4,292	(1,470)	2,821

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分は、内部組織管理上採用している区分によっております。

(化粧品事業) 主要製品：コーセー・ボーテ ドコーセー・コスメデコルテ・プレディア・
インフィニティ・ジルスチュアート・クリエ・アルビオン・
製商品輸出・海外生産品

(コスメタリー事業) 主要製品：ファシオ・エルシア・サロンスタイル・ソフティモ・
ステーブソル コレクション・リンメル

(その他の事業) 主要製品：アメニティ製品・不動産賃貸・原材料輸出

b. 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。